

令和2年4月13日の強風及び大雨に伴う農作物等の事後対策について

令和2年4月13日
農林水産部担い手支援課

1 作業全般

強風がおさまってから作業する。突風時には様々な物が飛んでくるので作業はしない。

2 施設等

- (1) 施設内外に湛水しているほ場では、速やかに排水溝を掘り、排水に努める。
- (2) 破損した場合は、速やかに補修を行う。
- (3) 傷んだ葉の除去及び折損した茎の切り戻しをして草勢の立て直しを図る。
- (4) 株元や根がゆすられて損傷を受けている場合には軽く土寄せを行う。
- (5) 茎葉の損傷によって株が衰弱している場合、病害が発生しやすいので殺菌剤の散布や葉面散布を行う。

3 露地野菜

- (1) 速やかにほ場の排水を図る。
- (2) 事前対策でべたがけをし、気温上昇が予想される場合はべたがけ資材をすみやかに除去する。
- (3) 葉や茎のこすれにより、病害が発生する恐れがあるので、汚れた茎葉の洗浄と損傷した茎葉の除去をし、薬剤散布を的確に行う。
- (4) 風の影響で、株元がぐらついたものは、生育の阻害を防ぐため、あまり根を切らない程度の中耕を行い、株元に土寄せして固定する。
- (5) 根の活性が低下して、肥料の吸収が悪くなるため、液肥の葉面散布を行う。
- (6) 潮風等を受けた場合は速やかに真水で洗い流す。また、茎葉が枯死した野菜のうち、収穫期に達している野菜は、多少未熟でも商品価値の落ちないうちに収穫する。

4 果樹全般

- (1) 潮風等を受けた場合は速やかに真水で洗い流す。
- (2) 風雨により枝葉や幼果に傷が出来ると病害が発生する恐れがあるため、できるだけ早めに殺菌剤を散布する。
- (3) 散布する殺菌剤は「農作物病虫害雑草防除指針」の防除法を参照。
- (4) 多目的防災網の防風ネットが破損した園では、直ちに修理し、次の災害に備える。
- (5) 園の排水に心がけ、滞水した場合は速やかに排水を図る。
- (6) 土砂等が園内に流入した場合は、速やかに園外に排出する。

5 露地花き

風により折れた枝や株は整理し、倒伏した切り花類は枝の曲がらないうちに無理のない範囲で早く立て直し土寄せする。